

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物不法投棄監視				開始年度	平成18年度	
基本目標	美しく良好な景観の創出				終了年度		
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦敏
21年度決算	30	千円	22年度予算	113	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	73 千円		22年度人件費	145 千円		事業従事者数	0.01 人 0.02 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	一般廃棄物不法投棄監視事業
事業の内容	町内の公的施設への不法投棄の監視及び不法投棄通報への対応

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 不法投棄物廃棄物の回収	ポイ捨てされたごみ(ボランティア回収含み)の回収を行い、町の美化に努めた。
	2 不法投棄物の処理料	ポイ捨てされたごみの内、家電やタイヤ等の適正処理を行った。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# パトロール回数	定期的に不法投棄の監視を行った。
	2 看板設置	不法投棄の情報に対応し、看板を設置。
	3 監視カメラ借受設置	環境省の事業を利用し、不法投棄監視カメラの設置を行った。

## ◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	不法投棄物廃棄物の回収	目標値	5,000	5,000	5,000	
		実績値	8,000	7,670		
		達成率	160.0%	153.4%		
	不法投棄物の処理料	目標値	千円	0	0	0
		実績値		9	27	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	パトロール回数	目標値	回	243	150	150
		実績値		190	100	
		達成率	%	78.2%	66.7%	
	看板設置	目標値	箇所	10	10	10
		実績値		10	8	
		達成率	%	100.0%	80.0%	
	監視カメラ借受設置	目標値	日	-	90	90
		実績値		-	70	
		達成率	%	#VALUE!	77.8%	

## ◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条第1項にて、市町村は、……『一般廃棄物の適正な処理に必要な措置を講ずるよう努めると…』とあり、一般廃棄物の不適正な処理となる不法投棄の監視事業は町にて行うものとする。 不法投棄等による廃棄物は、施設等の所有者(管理者)にて処理されるべきものであり、町の管理施設については、町(管理担当課)が行うもの、民有地については所有者若しくは管理者による
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	看板の設置等で町道脇への投げ捨ての減少。 原因者を示すものがあつた場合は、原因者への指導を行い悪質な者に対しては、警察との連携を図っている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	町道等への廃棄物回収及び看板の設置で、安易な投棄は減少している。 巡回監視を効率的に行うことで、ガソリン代等に係る経費の削減は可能であるが、啓発看板等の設置は必要と考える。 また、平成21年度、環境省の不法投棄監視カメラ無償貸付事業を活用し、投棄多発箇所の昼夜の監視を行い、投棄事実の確認に至っている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	不法投棄の監視については、投棄されている場所や時間を考えると協働は困難と考える。 投棄された廃棄物の回収については、公共の場などボランティアによる清掃活動が積極的に行われている。

事務事業名	一般廃棄物不法投棄監視	担当課(局)	町民生活課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>不法投棄に関しては、ポイ捨て程度の少々のごみであれば、ボランティア等の協力で対応していただけるが、最近では、粗大ごみ等が投棄されており、行政が経費を投入し対応しなければならない状況にある。これはポイ捨てではなく、目的を持った悪質・意図的な投棄であり、国民のマナー不足以前の問題である。</p> <p>昨年度から、国より不法投棄監視カメラを借受け、監視しているが、数、期間、原因者糾明の手法等に限界があり、まだ目を見張る効果があげられてない実情である。</p> <p>これからも、警察と連携を図りながら住民への啓発に努めていかざるを得ないと考え</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎廃棄物処理計画に基づき、ゴミ減量化のための方策を検討し、適切な処理をしな
	コスト	現状維持	